

きりの里

（「基里」の「里」を音読みにして、「きり」としています。）



本校は、鳥栖市立基里小学校と
施設分離型小中一貫教育を
推進しています。

鳥栖市立基里中学校
学校だより No.19
令和7年3月3日
校長 中山 孝史

～全校集会～

2/18（火）基里地区の未来をテーマに、佐賀新聞の「県政特集2024」をもとにして次の話をしました。

①小郡市と接する鳥栖市東部に昨年6月開通した小郡鳥栖南スマートインターチェンジ（SIC）は全国で初めて、2県にまたがるSICとして佐賀県、福岡県、鳥栖市小郡市およびNEXCO西日本が共同で整備を行った。開設に合わせて佐賀、福岡両県はアクセス道路となる県道鳥栖朝倉線（全長約1.6キロ）を整備した。小郡鳥栖南SICと県道鳥栖朝倉線の開通により、企業が集積する鳥栖商工団地からは車で2分、物流・倉庫業など30社以上が入る産業団地「グリーンロジスティクス・パーク鳥栖」からは4分で高速道路が利用できるようになった。

②鳥栖市では、久光製薬が国内の研究開発拠点を移転集約し、アイリスオーヤマが食品事業の生産拠点化を行ったほか、アサヒビールが博多から工場の移転を計画するなど、各業界をリードする企業が進出している。交通の要衝という優れた立地環境を生かして、現在は大規模産業団地の開発を目指す「佐賀県・鳥栖市サザン鳥栖連携プロジェクト」を進めている。佐賀県初となる官民連携による大規模産業団地「サザン鳥栖クロスパーク」（34ヘクタール）は、民間事業者が、佐賀県や鳥栖市と連携しながら、用地買収から造成、企業誘致までを一貫して行う。東急不動産、日本国土開発、丸紅の3社でつくるグループが開発事業者を選定され、再生可能エネルギーの活用や地域との共生を図るなど次世代型の産業団地づくりを目指して開発を進めている。

今後10年以内に、基里中学校から南に見える風景は、一変しそうです。環境保全と開発との線引きは難しいところですが、よりよい基里地区になっていくことを願っています。

～3月の行事予定～

日	曜	行事等
4	火	県立一般選抜1日目 学力テスト（1、2年）
5	水	県立一般選抜2日目 学力テスト（1、2年）
6	木	修了式（3年） 卒業式準備
7	金	卒業式
11	火	生徒会専門委員会
12	水	心肺蘇生法講習（2年）
16	日	県下一斉部活動休養日
18	火	生徒集会、5・7交流
19	水	大掃除
24	月	修了式（1、2年）、辞任式
25	火	春休み（～4/6（日））

～小学校での出前授業～

1/20（月）松田教頭先生が基里小学校で3年生向けに小刀の使い方を教える図画工作の授業を行いました。

2/28（金）黒田先生が5年生向けに陸上のリレーを専門的に指導する体育の授業を行いました。また、栗田先生が6年生向けに卒業式の式歌指導を行いました。

児童たちは元気よく真剣に授業を受けていました。

～体育館大規模改修完了～

昨年6/26（水）から始まった体育館の改修工事が2/26（水）に完了しました。工事期間中、保健体育の授業や部活動学校行事などで迷惑をかけましたが、全面的に新しくなりました。卒業式は改修された体育館で実施します。

～雑感～

私は今年3月末で役職定年を迎えます。何となく寂しい気持ちになる時もありますが、あと1か月校長職を精一杯務めたいと思っています。